

りょう ふう

涼風



頭の病気で倒れないために

NO.16 : 2004年春号

医療法人社団 涼風会

佐藤脳神経外科



淡水魚水槽 その②

目に青葉、風薫る季節です。脳梗塞で3月4日に倒れた長島茂雄監督、どうなることやと国民的心配でしたが、順調に回復されているご様子、なによりです。やはり、一歩ずつ意欲を持って、身も心もリハビリするのがいい訳ですね。みなさんも前向きにがんばろう。今回は、淡水魚（かわざかな）水槽その後の話です。

川底に潜ったカマツカは、素手で捕えられる。しかし、うわ物、なか物はすばしっこくて、網でさえ掬わせてくれない。釣りもいいけど、うん、やっぱ投網打って雑魚の生け捕りじゃ。漁具ショップを廻っても手ごろな投網の現物は置いてない。そこは通販だね、糸の素材、網の目合から選べる。届いた投網を担いで早速庭で練習。興奮を抑えながらそれっ一網打尽と思いきや、網は開かず振り回した錘が頭に降ってきた。危ねえ、これじゃ、魚どころか怪我するね。ネットの投網講座でコツを学んで、あとは子供と競争で練習に励んだ。左肘・左手・右手で手取りして回転と遠心力を使ってパアッと花火を咲かせる三角投法をマスターした、といっても

子供の方がちと上手い。

虎の子の休日は道具一揃い携え、子供ら乗っけてすぐに出かけた。黄色いパーマークが出る前の若アユ、追星のアカムツ・カワムツ、岩間に潜むムギツクの群れ、きらりと動く擬似眼のオヤニラミ、深緑黄色の鳴き魚ギギなどなど。なかでも、投網の裾袋で飛び跳ねる婚姻色のオイカワは、陽光を浴びて、エメラルドとアクアマリンにルビーをちりばめた宝石の輝きを放つ。これこれ、これじゃなあ、と見入っていると、後ろからしわがれた声をした。ひと目で一杯入るとわかる爺さんが、あんたらあ、ここで網打っちゃあいけんでえ。漁協が廻つとるけえ、捕まるで。そりゃ知らなかったなあととほけて、一旦引き揚げる。採れたてのうなぎを自慢げに、ふらふらしながら魚籠を提げて、軽トラ唸らせ立ち去った。そっちの方こそ捕まるでえ、警察に。

はにかみ屋のかわざかな達は、水槽照明に慣れると、デジカメ撮影の美しいモデルになる。水槽を気ままに泳ぐ彼ら子供らと眺める、いいひと時である。

医療法人社団 涼風会
佐藤脳神経外科
 〒729-0104 福山市松永町5-23-23
 tel 084-934-9911 fax 934-9910



♪ 脳神経外科・神経内科
 放射線科・リハビリテーション科
 ♪ 通所リハビリ デイケア 帆かけ舟
 ♪ 脳ドックセンター“3次元立体写真館”

涼風会メニューのご紹介 ⑪

グループホーム敬愛



グループホーム敬愛

グループホーム敬愛は平成14年6月1日にオープンし、はや2年を迎えます。家庭のような「温かさ」と「やさしさ」をモットーに自立支援を行いながら、みんなで一緒に過ごしてきました。これからも「ずっとここで暮らしたい」と感じて頂けるよう、笑顔、そして楽しみのある生活を支援したいと思います。

生活のひとコマ



「私たちにまかせて
 いつもありがとうございます」

1月 初詣。
 「今年も元気で」

季節を感じて



12月 鍋パーティー
 「おいしいね」



冬はこたつがいいですね。



お散歩

5月 かしわもち作り
 「上手く出来た」

